

関係人口とまちづくり 地区外からの参加で活気



耕作放棄地復活 ソバの収穫に広島から3人参加

人口が減り続ける中、安心で楽しいコミュニティをつくるためには、他地区の人びとの協力関係が不可欠です。伊野地区の取組に関心を持つ人がどんどん増えています。こうした人たちの協力があった、さまざまな活動が展開されています。山崎美吉さんのように、他地区に出かけて行くことで関係人口を増やしている人もいます。

ありがとう!

今年度（9月まで）の活動で、ご支援をいただいた「関係人口（地区外の仲間）」は次の通りです。

お名前	活動内容
夢工房(成相修社長)	空き家改修に資材提供と社員派遣
オクリノ不動産(糸賀夏樹代表)	空き家活用にアドバイス 空き家活用セミナー講師
社団法人チエノワ(代表:野宗輝邦)	プログラミング教室開催
広島「モリメイト倶楽部」(岩田幸信代表)	耕作放棄地復活プロジェクトに参加
島根大学国際センター長(青晴海教授)	島大留学生を迎える国際交流(11月7日予定)
NPOかみいとう(富士本数彦理事長)	伊野視察。伊野と東出雲の交流を希望
吉廣則子さんグループ(松江)	一畑中道復活を提案。伊野を応援する人を紹介。
ふるさと会員	寄付者数47人(新会員6人)。寄付金総額30万円(10月7日時点)
伊野いち出店者	小村書店 なかたか製麺 岩滝仏法堂 (6月伊野いち新規出店)

関係人口

佐田地区との交流

私は、関係人口を増やすために、佐田町NPO「スサノオの風」が主催する小さなマーケット「コタバ」や平田木綿街道のイベント、「よつ得!伊野いち」に出向いて伊野を紹介しています。

特に、出雲地区南部の佐田と東部の伊野は、共に市中心部から遠い中山間地域であり、かつ、まちづくりの先進地区であることから、活動の共有を始めました。

関係人口を増やすためには、やはり、自分から出向き、対面での情報提供、SNSでの情報発信と意見受信が大事だと感じています。

未来こい!ネット代表

山崎美吉